

株式会社 繁原製作所

高精度な歯車加工技術を駆使し EV向け減速機を開発

納期
相談
企画力
自信有
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット



減速機を搭載し効率的な走りを実証した電気自動車「トヨタ86」

業務内容

高い要求に応える
ものづくりで成長続ける

高精度な歯車加工技術と最新鋭設備に加え、高品質を保証する測定装置を備え、部品製作を行う。ラリー会場やサーキット場を巡り収集したニーズに応え、世界最高クラスの自動車やオートバイ車両をはじめ市販自動車のエンジンやミッションの歯車部品を供給する。試作・単品受注をベースに短納期を実現。中小企業にとって困難な、高い要求のものづくりで成長を続けている。またEV（電気自動車）の設計開発企業である（株）TGM Y（大阪市平野区）との協業をきっかけにEV向け減速機を開発。高付加価値化を追求する技術開発型企業として注目を集めている。

強み

顧客の課題に豊富な
経験とノウハウで応える

単品受注に特化した加工設備の保有台数および工程の多様さは国内で類を見ない。自動車用ミッション部品やコンロッド、クランクなどの機械加工を社内設備で一貫対応するため、高品質で専門性の高い試作部品やサーキットパーツを短納期で提供できる。月間450件、年間5000アイテム以上の部品図面を完成品に作り上げた実績と、レースや特殊なテストで使用される素材開発や熱処理のノウハウを製品開発に生かしている。高級車「トヨタLFA」のエンジンに、多数のギアを製作および量産供給したことが品質面で信頼の証になっている。

人材育成

若手の技術習得に
売り上げの1%を充てん

リーマンショック後、業績回復に取り組む中、気付けば社内の技能者が退職時期を迎えていた。ここに来て、自社技術の継承とともに習得が喫緊の課題となった。そこで今年度から売り上げの1%を社内の教育費に充てることを決めた。現在、フリス盤やNC（数値制御）操作などに関し外部から講師を招き研修を開始。繁原秀孝社長は「若い人材は理解が早く想定以上の成果が出ている」と受講者の技能検定1級取得を視野に入れている。さらに現場加工やNC・CAD操作、検査機器まで扱える多能工化を進め、社員のボトムアップを図っている。



品質性能を裏付ける各種検査装置

今後の展望

減速機事業を拡大し自社
製品比率25%を目指す

歯車の設計・製作にかかわる課題に的確な提案ができる専門企業を目指す。高精度歯車加工と助成制度で進める3D加工造形技術に磨きをかけ、削り出し加工による特殊歯車の製作技術を確立する。EV用多段減速機はモーターを動力とするさまざまな車両向けに改良。さらにEVで開発した技術をエンジン車両向けに応用し国内外で需要を探る。減速機開発のノウハウと高精度な部品製作技術を生かし、専用減速機ユニットの設計製作事業を拡大させ、海外強化もふまえ現状8%程度の自社ブランド製品の売り上げを25%まで引き上げを目指す。

COMPANY PROFILE

株式会社 繁原製作所

大阪
27

当社の 歴史

昭和43年、歯車加工を手がける「繁原歯車」を創業。昭和56年に「繁原製作所」として株式化し、自動車向け量産部品加工から試作部品、レース車両部品などを製作し成長してきました。近年では高精度な部品加工技術を生かしEV（電気自動車）用減速機を開発。そのオンリーワン技術が業界で高く評価されています。

迅速かつ細やかな対応力と大手企業に負けない技術力や設備を生かし、さまざまな分野の高精度部品を製作します。

代表取締役社長 繁原 秀孝さん



■主な事業内容

金属部品・試作部品加工、レース車両部品・減速機設計製作

■主な取引先（納入先）

自動車メーカー、バイクメーカー、農業機械メーカー、設備メーカー

住所／〒578-0973
東大阪市東鴻池
町5-2-7

TEL／072-962-8411
FAX／072-962-8785

創業／昭和43年4月
設立／昭和56年3月
資本金／3,800万円
従業員／45名

<http://www.shigehara.co.jp/>